

門川町を元気に

門川小学校 五年 黒川 侑亜

私は千葉県八千代市で生まれました。果物のなしが有名なところです。二才の時に門川町へ引っこして来たので、八千代市の事は何も覚えていません。今では、すっかり門川町が私の地元になっています。

門川町に来たばかりのころは、母といっしょに、子育て支えんセンターによく遊びに行っていたと聞きました。西門川のひな人形を見たり、いおり川のみかんがりをしたり、たくさんのイベントに楽しく参加させてもらったようです。門川町の子育て支えんは、とても積極的で、安心して子育てができるかと母が言っていました。これからも子育て支えんを続けて、若い人がいっぱい住む門川町にしてほしいです。

門川町の夏で好きなのは、港の空に打ち上がるきれいな花火です。海の水面上にうつる花火は、空とはちがった美しさがあります。クライマックスにある連続で打ち上がる大きな花火はとてもはく力があります。おとしと去年は、残念ながら中止になりましたが、今年の夏は三年分をまとめて打ち上げて、みんなを楽しませてほしいです。

門川町の冬で好きなのは、あちこちにあるイルミネーションです。特に好きなのは門川町のキャラクター「かどっぴー」と「がわっぴー」のイルミネーションです。いろんな色が使われていて、とてもかわいいです。寒い夜に見ると元気になるので、もっともっとイルミネ

ーションの数を増やしてほしいです。

門川町にはたくさん川があり、豊富な生活用水と農業用水を私達にあたえてくれます。また、山の栄養分を海に運んでくれるので、豊かな漁場を作ってくれます。小学校の社会科見学で漁港に行きましたが、たくさん魚が水そうの中で泳いでいました。門川にもたくさん魚がいるのだなあと思いました。川は門川町にとって大切な存在だと思います。私は夏休みの課題で「宮崎の川をかこう！わたしの大好きな宮崎の川」というテーマで五十鈴川の景色を何日もかけてかきました。銀賞というりっぱな賞をいただけだったので、今でも五十鈴川を通るとうれしくなります。これからも川を大事にしたいです。

門川町には、門川金ハモ、高とう度トマト、みかん、へべすなどのたくさんの特産品があります。小学校の給食に出てくることもあり、私は家に帰ったら「門川の特産品を食べたんだよ。」と家族に言っています。しかし、その特産品がどこで売られているのか、どこで食べられるのか、私はよく知りません。だから、だれかに「これが門川の特産品だよ。」「門川の特産品はおいしいから、ぜひ食べてみてよ。」「ここで買えるよ。」と話すことができませぬ。門川町に住んでいる私が分からないので、門川町以外の人は全く知らないのかもしれない。せっかく門川町にはすばらしい特産品があるのに、それをアピールする場所が少ないのは、もったいないと思います。高速道路の東九州道のうち、川南パーキングエリアから大分松岡パーキングエリアまでの約百五十キロメートルの区間で、トイレが無いそうです。運転手さんがとて

も大変だと思えますし、アピールするのにちょうど良いと思います。だから、門川インターの近くにパーキングエリア、または道の駅を作って、門川の特産品をいっぱいならべて売ってはどうかでしょうか。私は門川町もすごいといろんな人に知ってもらいたいです。

小学校の授業で、宮崎県の市町村のテストがありました。宮崎県の絵がかいてあり、数字で番号が書いてありました。番号に正しい市町村を書いていくテストでした。門川町は、となりの「延岡市」「日向市」「美郷町」に比べて小さいなと思ったことを覚えています。小さいけれど、門川町は他に負けないみりよくを持っている市町村だと思えます。高速道路や十号線で通り過ぎるだけでなく、立ち寄ってもらいたいです。門川町のみりよくを門川町外の人にも知ってもらいたいです。たくさんの方がやって来る門川町になってほしいです。そして、門川町がもっと元気になるといいなと思えます。
